

沼高PTA会報

岩手県立沼宮内高等学校PTA事務局

〒028-4398 岩手県岩手郡岩手町大字五日市10-4 ☎0195-62-2388(職)・62-2334(事) FAX 0195-62-3203
ホームページアドレス <http://www2.iwate-ed.jp/nkn-h/> 印刷 河北印刷株式会社



子どもたちの成長を願って

PTA会長
滝口 純子

厳しい寒さの中にも春の訪れを感じられる弥生三月の良き日に、沼宮内高校を卒業される五十二名の皆さん、ご卒業おめでとうございます。そして、保護者の皆様、心からお祝いを申し上げます。今から三年前、真新しい制服に身を包み、期待と不安を抱きながらこの沼宮内高校に入学されたことでしょうか。月日が経つのは早いものです。皆さんはどのような高校生活を送ることができたでしょうか。心も体も大きく成長されたことでしょうか。沼宮内高校で学んだことは、皆さんの人生の糧になります。「雪持ち笹」の精神を忘れずにご活躍されることを祈念いたします。

今年度は、岩手町で国体ホッケー競技が開催され、全校生徒が競技補助員として大会運営を支えました。全国各地からいらした選手や応援団の方々と接する機会に恵まれ、よい経験になったことと思います。少年女子は準優勝、少

年男子は第三位と大活躍でした。また、卓球部・ソフトテニス部・野球部五校連合の県大会出場、新聞コンクールにおいても団体(岩手賞)・個人(優秀賞)ともに入賞し、大きな成果を上げております。進路では、岩手大学、県立大学、ニチコン岩手をはじめ、三年生全員が十二月中旬に進路を決定することができました。このように子どもたちが活躍し進路を達成することができましたのも、先生方の熱心な指導があつてこそと感謝致しております。

私たち保護者も先生方とともに子どもたちのさらなる成長を願って、PTA活動に尽力していかなければならないと感じています。PTA活動を先生方と保護者の情報交換や意見交換を行う場の一つとし、たくさん保護者の皆様に参加して頂き、有意義な活動となるよう工夫してまいります。PTA活動がさらに充実したものに

なりますよう、会員の皆様方には引き続きご支援頂きますようお願い申し上げます。

最後になりますが、昨年四月のPTA総会において会長職を任命されて以来、校長先生をはじめ諸先生方の温かいご指導を頂きながら、またPTA会員の皆様方のご協力とお力添えにより、無事に諸行事を終えることができました。心より感謝申し上げます。



第35回県高文連将棋新人大会
《男子個人戦 B級優勝》
2年 佐藤海



第4回いっしょに読もう!新聞コンクール
《優秀賞 高校の部》
3年 千葉 咲晏良



《全国選抜大会出場》
東北高校選抜ホッケー大会
男子優勝
女子準優勝



チーム沼高

校長 藤澤 義 昭

保護者の皆様には、常日頃、本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。お陰様をもちまして、今年度も無事卒業式を迎えるところまで来ました。

三年生の保護者の皆様、ご子息・ご息女のご卒業誠にありがとうございます。

今年度のこれまでの主なPTA活動を振り返りますと、五月の街頭指導、六月のPTA総会、大迫へのPTA研修旅行、七月の東北高P、八月の全国高P連千葉大会、十月の沼高祭PTAバザーと例年通りに充実した活動を実施することが出来ました。いずれの活動も多くの保護者の皆様のご協力とご参加を頂き、成功裏に終えることが出

来しました。改めて、感謝申し上げます。

今年度も生徒が大変活躍した一年でした。特にホッケー部が昨年と同様に素晴らしい活躍をしてくれました。男子は、六月の東北選手権大会で四連覇、七月の中国インターハイで第五位、十月のいわて国体では、不来方高校との合同チームで第三位、十一月の東北選抜大会で九連覇を達成して三月に行われる全国選抜大会へ出場が決まりました。また、十二月には、年間成績ベスト8以上を基準とする全国チャンピオンズカップに選出されました。また、ホッケー部の中花惇君がU18日本代表選手に選出され、一月末からニュージーランド遠征

に参加しました。女子は、六月の東北選手権大会で第三位、いわて国体では、同様に不来方高校との合同チームで二年連続の準優勝、十一月の東北選抜大会で第二位となり三月に行われる全国選抜大会へ出場が決まりました。また、十二月に国体女子チームが岩手町特別表彰、二月に県教育委員会はばたき賞を受賞しました。卓球部は、上位校と互角に戦い二回戦まで勝ち上がりました。サッカー部やソフトテニス部も持てる力を十分に発揮しました。野球部は、五校連合チームとして大会に出場、バスケットボール部も同様に合同チームで出場しました。将棋部は、新人大会B級で個人戦優勝と第三位、団体戦も第二位と大健闘をしました。新聞コンクールでは、団体で岩手賞、個人で優秀賞を受賞、美術部や書道部等も各団体から多くの表彰を受け、文化部も大変活躍をしました。進路状況は、十二月の中に岩手大学、岩手県立大学、

県立盛岡短大、県立宮古短大、ニチコン岩手、SWS東日本等、生徒の希望通りに合格を頂き、一〇〇%決定をしました。さて、少子化の影響もあり、今年度は新入生二九名、全校で一二〇名でのスタートとなりました。四月の全校集会で、例年と代わらない活躍を期待し、生徒達に「自分の持つ力を全員一・三倍出し切り頑張ろう。そうすれば、沼高は、変わらぬ元気な学校だ。」と話をしました。生徒達は、それを実行してくれて、例年以上に頑張り成果を上げてくれました。

その中で、女子ホッケー部は、部員が一・二年生の六人だけで、県大会や東北大会の出場が危ぶまれました。しかし、ホッケー部のために沼高のためにと六名の生徒が助っ人として大会に出場してくれました。テニス部、バスケットボール部、吹奏楽部、茶道部と初めてホッケーをやる生徒もいましたが、力の限りグランドを走り、ホッケー部員との連係プレーも見事に決まり、春季東北大会第三位、秋季東北大会準優勝となり、三月の全国選抜大会への出場が決まりました。同様に男子ホッケー部も県新人戦と東北大会では、サッカー部二人、ソフトテニス部一人が助っ人として加わり、見事優勝し全国選抜大会へ出場します。今年度は、ホッケー部への助っ人のお陰で、ホッケー部員も十分に力を発揮することができました。今後は、少子化の影響等で、他のクラブでも同様に助っ人の力を借りて各大会に出場することがあると思います。そのときは、是非「チーム沼高」として学校のために戦い抜いてほしいと思います。これからも、我々教職員は、生徒に負けないよう本校の課題解決に向けて「チーム沼高」として、全教職員が一丸となり保護者、生徒、学校、地域のために全力で取り組んで参りますので、更なるご理解とご協力をお願い申し上げます。

出会いの大切さ

三学年主任 小川 幸子

「二期一会」という言葉があります。茶道に由来する言葉で、「二期」とは一生を、

「一会」とは一回という意味で、「幾度かの茶会を開く機会があるとしても、この茶会

と全く同じ茶会は二度と開くことができないから、茶会は常に一度きりのものと心得て、相手に対して精一杯の誠意を尽くさなければならぬ」という意味です。現在におきかえてみると、毎日顔を合わせる友人や家族、職場の仲間であっても言葉を交わ

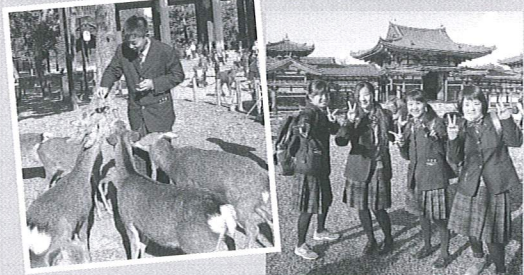
すその一瞬一瞬は「二期一会」である。相手を思いやり、出会えたことに感謝しなさいという意味になるのだそうです。

三年前の三月、高校の入学手続きの日に、中学校までは違う新しい気持ちで高校生活を始めてほしいとの思いから第一印象について話しました。第一印象の善し悪しがその後人間関係を左右するといつて過言ではなく、出会った最初の印象が良ければ友好関係になり、悪ければなかなか払拭されません。あれから三年、「二期一会」の言葉どおりに毎日顔を合わ

文化祭



修学旅行



スキー実習



＊進路指導部から＊

三年生の皆さん、卒業おめでとうございます。進路決定に向けて一所懸命に勉強と面接練習に取り組み、合格・内定を得ることが出来ました。また、保護者の皆様には、日頃から本校の進路指導に関して御理解、御協力を賜り深く感謝申し上げます。

さて、ハローワーク盛岡の統計によりますと、平成二八年十月末時点での管内求人

は昨年同期より二二二人（一六・九％）増の一六〇八人となりました。全体でも五〇四四人（八・五％増）となり引き続いて好調でした。県内全体の就職内定率は十月末現在で八六・五％となり、過去最高（平成八年以降）となりました。この数字だけ見れば、就職は簡単に決まるように思われますが、岩手県の生徒が就職してから三年以内離職率が依然として高い状態にありま

す。平成二五年三月卒業の生徒で離職率が四一・四％です。まだまだミスマッチが多いのが解消されていません。今年の就職試験の様子を見ると、試験の点数だけで決めるのではなく面接を特に重視する企業が多いように感じられました。面接での感触が良く、内定がもらえる傾向が強くと、コミュニケーション能力を問われている状況がはつきりと見られました。人口減少と大学生の就職状況の好調に

より今まで高校生を採用していなかった企業からの求人が増えてきました。新たな企業開拓も行い、就業支援員さんの助言を頂きながら面談とアドバイスをしました。

今年度の上級学校への進学率は三六・五％となりました。進学には早期からの進路計画が必要です。担任又は進路の先生に相談してください。本校では推薦・AOによる進学者が多いですが、入学後に困らない学力を身につ

けるために課外授業を実施しています。奨学金については手続き日が決められているので注意してください。来年度以降には給付型の奨学金も検討されていますので、詳しい案内が届きましたら配付いたします。

卒業して進学・就職すればそれで終わりではなく、その後の人生をより良いものにするためには、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現して下さい。

せていても新しい出会いでした。生徒も先生方や友人、先輩など新しい出会いがたくさんありました。「出会い」からうまく関係を築けたこと、築けなかったこと、様々なこ

とがあつて少したくましさがある身につき行動できるようなうなってきたと感じます。この三年間の出会いは、一生の中で貴重なものであり、それぞれの財産になったと思

ます。

四月からは新しい生活が始まり、新しい出会いがさらに増えることと思います。その中から一生付き合っていく人、お世話になる人、一回の

出会いだけの人など様々ですが、誰がその人であるかは出会った時にはわかりません。職場や学校などでの人間関係は、面倒なもので煩わしいものですが、私たちは様々な人

に支えられているのも事実です。「二期一会」を思い出し、誰に対しても誠意をもって接し、友好的な関係を築き、人とのつながりを大事にしてほしいと思っています。

平成28年度 進路状況 (平成29年1月20日 現在)

Table with columns: 項目, 卒業生数(在籍者数), 進学合格者数 (合計, 大学, 短大, 医療系短大・専門学校, 専門学校等), 就職内定者数 (合計, 管内, 県内, 県外), 公務員・自営・縁故, 進路準備等. Rows for 男, 女, 計.

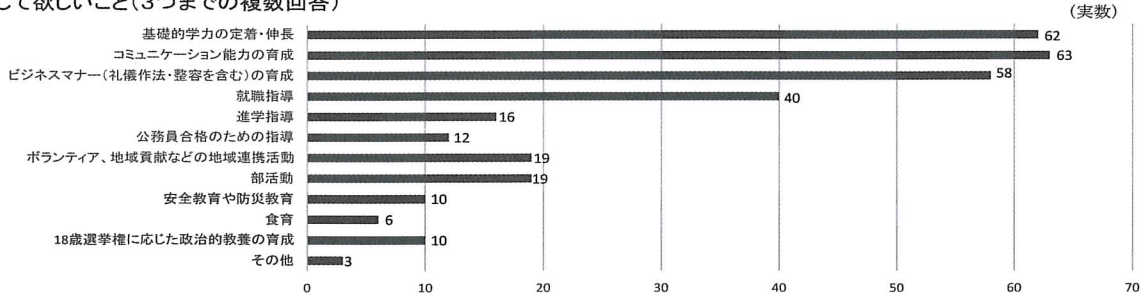
H28 保護者による学校評価

H28.12.19~H.29.1.13実施、回答112名 97.3% (昨年度149名 99.3%)

Table for evaluation criteria: 「そう思う」と「ややそう思う」の合計. Columns: 80%以上, 65%以上, 45%以上, 45%未満. Rows: A, B, C, D.

Main evaluation table with columns: 質問項目, 今年度の評価(%), 昨年度の評価(%). Rows 1-18 covering various school aspects like curriculum, staff, and facilities.

指導を強化して欲しいこと(3つまでの複数回答)



学校への意見や要望(自由記述)

Table of free-text responses from parents, including requests for golf courses, curriculum adjustments, and safety measures.

保護者の皆様へ

- 「平成28年度 保護者による学校評価アンケート」へのご協力ありがとうございました。集計結果につきましては、ご覧のとおりとなりました。
① 全体的に「そう思う」、「ややそう思う」という回答 (以下、肯定的な回答) の合計が80ポイントを超えた項目を「総合評価A」として集計しております。
② 肯定的な評価ポイントが80未満で65以上の項目を「総合評価B」、65未満で45以上を「総合評価C」、45未満を「D」として集計しております。
③ 18項目中の15項目において、「そう思う」、「ややそう思う」の回答合計80ポイント以上という肯定的な回答をいただきました。
④ 肯定的評価では、「No.18入学させて良かったと感じている。」が94ポイントで最も高く、「No.6 教員の保護者への対応の仕方、接し方は適切である。」「No.9 生徒は高校生らしい服装をし、挨拶やマナーが良い。」と続いて、「No.19 学校徴収金の金額は適切である。」等が90ポイント以上でした。
⑤ 「No.5 本校と家庭との連携は十分に図られている。」と「No.3 「開かれた学校づくり」を推進し、地域のために役立っている。」の項目は、昨年度と比べて5ポイント低く、AからBに評価が落ちてしまいました。今年度も、昨年度に続き、「いわてまち焼きうどん」等の地域振興活動に参加したり、「南こうせつコンサート」への賛助出演、岩手国体ホッケー競技への全面的協力など、将来の岩手町を担う人材になってほしいという願いから、学校の枠を超えた様々な活動へ生徒を参加させておりますので、今後とも生徒の学校外での活躍にご注目いただきたいと思います。なお、学校と家庭との連携を今後一層高めて参りますので、ご不明な点、ご要望等があれば、随時、本校へご連絡いただけますよう、お願いいたします。
⑥ 「No.2 「特色ある学校づくり」に努めている」の項目では、生徒数の減少を危惧する意識が、アンケート結果に反映しているものと考えております。
⑦ 「ご意見やご要望等」を自由に記入していただきました。本校のスキー授業やゴルフ授業は、文部科学省の「学習指導要領」にある「生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力の育成」という保健体育の教科目標に沿って、地元の施設のご厚意を受けて実施しているところでです。
⑧ みなさまからのアンケートの結果は、学校評議員会から今後の沼宮内高等学校の学校経営に関する意見聴取の資料に活用させていただきます。
⑨ 今後ともPTAの活動にご協力いただけますよう、よろしくお願いたします。不明な点は、本校の副校長にお問い合わせ下さい。

部活動の記録

ホッケー部

平成28年度全国高等学校総合体育大会ホッケー競技

《男子》 1回戦

沼宮内6-2須知(京都)

2回戦 (前半2-2)

沼宮内1-1八頭(鳥取)

3回戦 (前半1-0)

S04-3

沼宮内0-1岐阜総合学園(岐阜)

平成28年度国民体育大会ホッケー競技東北ブロック予選会兼第43回東北総合体育大会

《男子》

準決勝 岩手12-1山形 (前半6-1)

決勝 岩手12-0福島 (前半4-0)



《女子》

準決勝 岩手8-0宮城 (前半5-0)

決勝 岩手4-1山形 (前半1-0)

第71回国民体育大会ホッケー競技

《男子》

1回戦 岩手11-1愛媛 (前半2-0)

2回戦 岩手5-2滋賀 (前半1-1)

準決勝 岩手1-1富山 (前半1-1)

3位決定戦 岩手5-2佐賀 (前半2-1)

※第3位

《女子》

2回戦 岩手4-1栃木 (前半2-1)

準決勝 岩手0-0富山 (前半0-0)

S03-2

決勝 岩手2-6岐阜 (前半1-4)

※第2位



第28回岩手県新人ホッケー大会

《男子》

決勝 沼宮内23-0不来方 (前半11-0)

※22年連続25回目の優勝

《女子》

決勝 沼宮内14-0不来方 (前半5-0)

※3年ぶり16回目の優勝

平成28年度東北高等学校選抜ホッケー大会

《男子》 決勝トーナメント

準決勝 沼宮内13-0置賜農業(山形) (前半7-0)

決勝 沼宮内15-1築館(宮城) (前半7-1)

※優勝(全国選抜出場権獲得)

《女子》 決勝リーグ

沼宮内0-1築館(宮城) (前半0-0)

沼宮内13-0三沢(青森) (前半8-0)

沼宮内6-2米沢興譲館(山形) (前半5-1)

※第2位(全国選抜出場権獲得)

サッカー部

i-League U-18(リーグ戦)

第6節 盛岡南7-0沼宮内

第7節 平 館1-0沼宮内

第8節 沼宮内3-2盛岡農

第9節 盛大附5-3沼宮内

第10節 盛岡誠教11-0沼宮内

ソフトテニス部

平成28年度岩手県高等学校新人大会ソフトテニス競技二戸地区予選

《個人戦》 通過数5組



第61回岩手県高等学校新人大会ソフトテニス競技

《個人戦》 1回戦

田村・乙茂内2-4

氏家・佐藤(金石商工)

《団体戦》 1回戦

沼宮内0-3宮古商業

卓球部

平成28年度岩手県ジュニア卓球選手権大会

《個人戦》シングルス《男子》7名参加

1回戦

田中未来(2年)③-0

岩船圭吾(盛附)

2回戦

2-1③白石山河(大船渡東)

1回戦

宮崎裕輝(2年)③-0

菅原悠斗(水沢工)

2回戦

③-2高橋愛龍(花北青雲)

3回戦

0-③野澤遙希(一関工業)

第19回MJオープン卓球大会

団体戦《男子》予選リーグ

沼宮内③-2北上翔南A

沼宮内③-2

三沢商業 青森県高総体団体3位



決勝トーナメント

沼宮内0-3宮古工業
平成28年度岩手県高等学校新人大会卓球競技「三戸地区予選」

《男子団体》
沼宮内2-3福岡工業
順位戦
沼宮内3-0福岡

《男子ダブルス》
宮崎裕輝(2年)・佐々木来依(2年) 2回戦進出
《男子シングルス》
千葉孝心(1年) 2回戦進出
木下 楓(1年) 2回戦進出
宮崎裕輝(2年) 4回戦進出
地区8位
田中未来(2年) 5回戦進出
地区4位(県大会出場)

瀧 智也(1年) 5回戦進出
地区3位(県大会出場)
《男子団体》
沼宮内3-0盛岡南
2回戦
沼宮内2-3黒沢尻工業
《男子シングルス》
1回戦
瀧 智也(1年) 0-3
後藤裕馬(水沢工業)
1回戦
田中未来(2年) 1-3
鈴木佑昌(大船渡東)

2回戦 0-3菊池周(専大北上)
第43回町民卓球大会
佐々木来依(2年) 4回戦進出
畑中 崇(3年) 3回戦進出
宮崎 裕輝(2年) 2回戦進出

平成28年度全国高等学校選抜卓球大会岩手県予選会
2回戦
佐々木来依(2年) 3-0
川原圭稀(水工)
3回戦 3-0佐藤省吾(関二)
4回戦 0-3千葉瑞仁(水沢)
1回戦 宮崎裕輝(2年) 3-0
北田浩志(江南義塾)
2回戦 3-1高橋春翔(黒北)
3回戦 2-3佐藤和輝(千厩)
1回戦 瀧 智也(1年) 3-0
菅原聡浩(関一)
2回戦 0-3熊谷有馬(黒工)
1回戦 千葉孝心(1年) 3-0
片岸 光(前沢)

2回戦 0-3岩沼翼(関一)
第86回北日本卓球大会
《男子》7名参加
2回戦
佐々木来依(2年) 3-0
熊谷幸人(宮城気仙沼向洋高)
3回戦 3-1松本奏音(水沢高校)
4回戦 1-3守澤雄海(秋田商業)
2回戦 宮崎裕輝(2年) 3-0
松川佑太(宮城石巻工業)
3回戦 0-3福島成亜(大野中学校)

野球部

第97回全国高等学校野球選手権岩手大会
2回戦
大迫・前沢・沼宮内連合
3-14
黒沢尻北(5回コールド)

第69回東京卓球選手権大会岩手県予選会
《男子シングルス》6名参加
1回戦 田中未来(2年) 3-1
赤坂幸太郎(盛大附属)
2回戦 0-3岩渕誌音(花巻農業)
1回戦 佐々木来依(2年)
3-0千葉雄太(水沢工業)



第68回秋季東北地区高等学校野球岩手県大会北奥地区予選

北上翔南・前沢・沼宮内・花泉連合
1回戦
0-11
水沢(5回コールド)
敗者復活戦 1回戦
北上翔南・前沢・沼宮内・花泉連合
1-12
水沢商(8回コールド)

将棋部

第15回岩手県高等学校将棋電王戦
男子個人戦
B級 62名出場
佐藤 海(2年) 4勝1敗 7位
滝川 和(2年) 4勝1敗 8位
志田健斗(3年) 4勝1敗 11位

C級 64名出場
田村佑太(1年) 3勝2敗 13位
C級 64名出場

第35回岩手県高等学校文化連盟将棋新人大会
男子個人戦 B級 56名参加
佐藤 海(2年) 5勝 優勝
滝川 和(2年) 4勝1敗 3位

C級 50名参加
山本颯馬(1年) 4勝1敗 4位
田村佑太(1年) 3勝2敗 15位



男子団体戦 B級 30チーム出場
B1チーム(山本・佐藤・滝川)
4勝1敗 2位

対盛岡第三B2 2-1
対一関工業B 3-0
対盛岡第三B4 2-1
対盛岡第三B3 1-2
対岩手B1 3-0

書道部

第39回岩手県高等学校総合文化祭書道部門 兼
第51回岩手県高等学校書道展
入 選 細川 豊(3年)
千葉 彩(2年)

美術部

第37回岩手県高等学校総合文化祭美術工芸展
入 選 佐々木 涼(3年)

その他活動の記録

第7回いっしょに読もう!新聞コンクール(日本新聞協会主催)
《高校の部》
優秀賞(県) 千葉咲晏良(3年)

岩手賞(県最優秀賞) 団体
学校奨励賞(全国) 団体
第24回岩手町福祉作文コンクール
最優秀賞 道下 侑紀(3年)
優秀賞 大谷 由香(3年)
校内読書感想文
最優秀賞 西田こずえ(3年)
優秀賞 大石 風花(2年)
佳作 畑山 知加(1年)
吉谷地祐樹(3年)

岩手町かむかむ歯ッピーレシピコンテスト
最優秀賞
「切り干し大根とツナと春みどりのしゃきしゃきドック」
田村 由佳(2年)
中村里緒奈(2年)

優秀賞
「野菜いっぱいカムカム焼き」
田村 由佳(2年)
中村里緒奈(2年)

優秀賞
ロールキャベツ
乙茂内茉衣(2年)

平成28年度石神の丘美術館岩手町小中学校・高校絵画コンクール
《高校の部》
最優秀賞 滝川 和(2年)
優秀賞 阿部 愛海(3年)
大巻 美涼(1年)
田村 太一(2年)
中花 惇(2年)
和田絵理奈(1年)

平成29年岩手町書初めコンクール
《一般の部》
入 選 鈴木 麗穂(3年)
佳 作 細川 響(3年)
千葉 真子(3年)
横田 リエ(2年)
小川 雄人(1年)